

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 7 月 19 日 (2007.7.19)

【公開番号】特開 2006-45301 (P2006-45301A)

【公開日】平成 18 年 2 月 16 日 (2006.2.16)

【年通号数】公開・登録公報 2006-007

【出願番号】特願 2004-226530 (P2004-226530)

【国際特許分類】

C 0 9 C 1/48 (2006.01)

C 0 8 K 9/02 (2006.01)

C 0 8 L 21/00 (2006.01)

C 0 9 C 3/06 (2006.01)

【F I】

C 0 9 C 1/48

C 0 8 K 9/02

C 0 8 L 21/00

C 0 9 C 3/06

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 6 月 6 日 (2007.6.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 2】

シリカの反応効率について

表 1 から明らかなように、冷却水または原料油にシリカゾルを添加した場合のシリカの反応率 = (灰分 / 計算シリカ量) × 100 は 92 ~ 98 % であり比較例 2 の揮発性ケイ素含有化合物の場合と比較してほぼ同等である。しかしながら、本発明で開示したシリカゾルは比較例 2 の揮発性ケイ素含有化合物と比較して廉価であることから、本発明により低価格でシリカ処理カーボンブラックを提供することが可能である。